



●議員は原則2期8年で交代 ●議員報酬は市民の活動費 ●選挙はカンパとボランティアで

つくば・市民ネットワーク通信

発行：つくば市民ネットワーク
Tel&Fax:029-859-0264
つくば市二の宮2-1-3クラフトビル1F
tsukubahotnet@ybb.ne.jp
http://tsukuba-net.jp



2017年10月2日 vol.52



特定秘密保護法、TPP、安保法制、共謀罪。これらは、

一強は国民にとって有益か

そんなセリフが選挙のたびに聞かれます。そして、その言葉に後押しされるように与党は議席を順調に増やし、今や衆参とも自公合わせて2/3に迫る勢いです。その結果、どんなことが起こったのでしょうか。

野党が頼りない

「誰に投票したらよいか分からない」「そんなあなたへ伝えたいこと」

安倍政権 強行採決の数々

- 2013年**
特定秘密保護法の強行採決
国民の「知る権利」が侵害されると国民の不安と批判を生んだ
- 2014年**
集団的自衛権行使容認の閣議決定
否定してきたこれまでの政府見解を覆した
- 2015年**
安全保障関連法の強行採決
国会招致された法学者が全員違憲と断言。9条の平和主義や専守防衛の枠を超える解釈改憲の強行
- 2016年**
TPPの強行採決
関税撤廃による農業へのダメージ、規制緩和による食の安全性や医療格差への影響が懸念される
- 2017年**
共謀罪(テロ等準備罪)の強行採決
反戦思想を取り締まる治安維持法と類似の内容を持ち、計画段階から罪を問える

選挙の時には語られなかった法案であり、国会で十分な審議がされないまま強行採決されました。今も、国民の多くが反対しているものです。そして、さらに安倍首相がかねてより推し進めたいとしているものは何か...9条だけではなく、国民の思想や行動にグツと制限をかける憲法改正です。

口では何とでも言える

安倍一強、と言われる昨今の政治をもう一度振り返ってみてください。景気は良くなりましたか? 株価ではなく実際に給料は上がりましたか? 貯蓄は増えましたか? ブラックとされる働き方は改善されていますか? 選挙のときに何を語っているか、よりも「その人が」何を

ミサイル問題の本質は

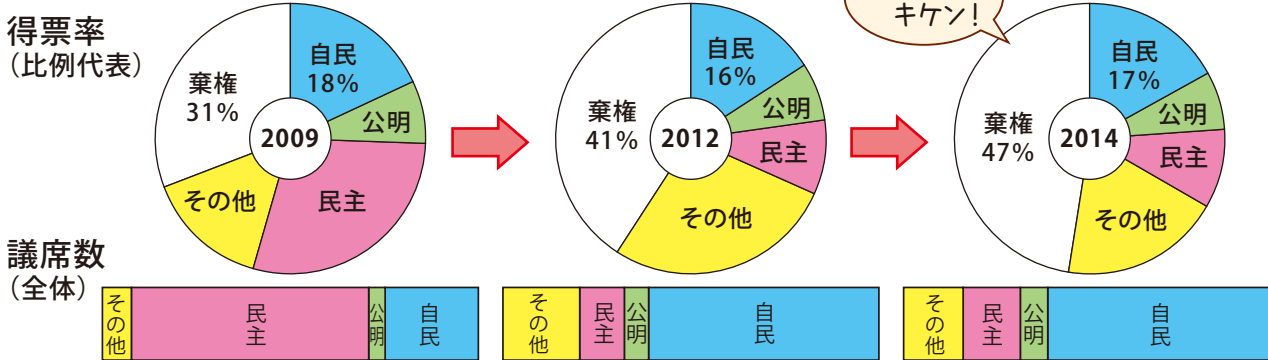
してきたか」をきちんとチェックすることが大事なのです。

朝早くからのJアラートに恐怖を覚えた方も多かったのではないのでしょうか。

北朝鮮のミサイル発射や核実験に対し、安倍首相は国連で「対話でなく、さらなる圧力が必要」と演説しました。そのせいで日本は北朝鮮にとって、明らかに敵国となつてしまいました。このまま制裁強化を続けていくと、追い詰められた北朝鮮は、本当に日本にミサイルを発射するかもしれません。

対話もせず危険をおおるような安倍政権に、外交を委ねてしまうことこそ国難である、と思います。

最近の衆議院選挙結果



直近の国政選挙の投票率は50%台です。一強と言われる

支持政党のないあなたこそキーマン

る自民党の得票数も国民全体から見ると1/5ほどしかありません。

自公の対立軸として立ち上がった希望の党。しかし、改憲や安全保障など、自民党との違いは見られません。ここに来て、リベラル系新党の動きもでてきました。

普段は選挙に行かない人の一票が、結果を大きく左右する可能性があります。必ず投票にいきましょう!

議員と話そう!会

定例会議会の報告を兼ね、みなさんと意見交換を行います。つくバス改善案、高齢者福祉サービス、教育などテーマは様々。お気軽にご参加ください。

- 11月11日(土) 14:00~16:00 豊里の杜 ギャラリー夢工房 (豊里の杜2-2-5)
- 11月15日(水) 10:00~12:00 荃崎交流センター 工作室
- 11月16日(木) 10:00~12:00 つくば・市民ネットワーク事務所

待ったなし!ごみ減量・リサイクル推進に本気で取り組もう!

クリーンセンターの隣に待望のリサイクルセンターの建設が始まりました。2019年稼働予定で、容器包装プラスチックなど新たな分別リサイクルが始まります。そこで9月議会では、ごみ減量とリサイクル推進について、質問・提案を行いました。

つくば市のごみ処理の現状は、リサイクル率が低く、焼却灰の発生率が高いなど、様々な課題があります。特に、焼却灰や燃やせないごみを市外の民間処分場に埋め立てていますが、その使用期限があと6年半にせまっており、ごみ減量とリサイクルの推進は喫緊の課題です。

しかし、最終処分場の今後について担当課は、今の最終処分場が一杯になっても、他の民間処分場から引き合いが来ていると、全く危機感が感じられません。

最終処分場はどこも自然豊かな場所に作られ、地元住民に負担を強いています。もし、つくば市内に最終処分場を作ろうとすれば、どこの地区でも大きな反対運動が起きるでしょう。今一番大事なものは、現在の最終処分場を少しでも長く使えるよう、ごみ減量に本気で取り組むことと考えます。

つくば・市民ネットワークでは、結成当初より持続可能な循環型社会を目指し、レジ袋の無料配布中止、ダンボールコンポスの普及による生ごみの資源化、雑紙(ぞつがみ)分別の呼びかけ提案など、様々な取り組みを行ってきました。

そこで今回は、ごみ減量のポイントとして、①事業系ごみの分別検査の強化、②小型家電回収や雑紙分別のPR強化、③生ごみの資源化、を提案しました。また、2008年に取り組んだレジ袋削減懇談会のように、ごみ減量に向けて市民や事業者等が共に知恵を出し合う会議の設置を提案しました。

市長は「最終処分場の延命化を図るためにも、様々な努力をしなければならない。リサイクルに取り組んでいくことは、市民が自ら意識を持って自分たちの地域のことを考えていくきっかけにもなる。」と答弁。

行政、市民、事業者がともに本気でごみ減量に取り組むよう、つくば・市民ネットワークは引き続き働きかけていきます。

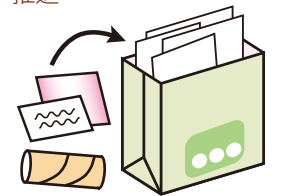


つくば市議会議員
都市建設委員会副委員長

宇野 信子

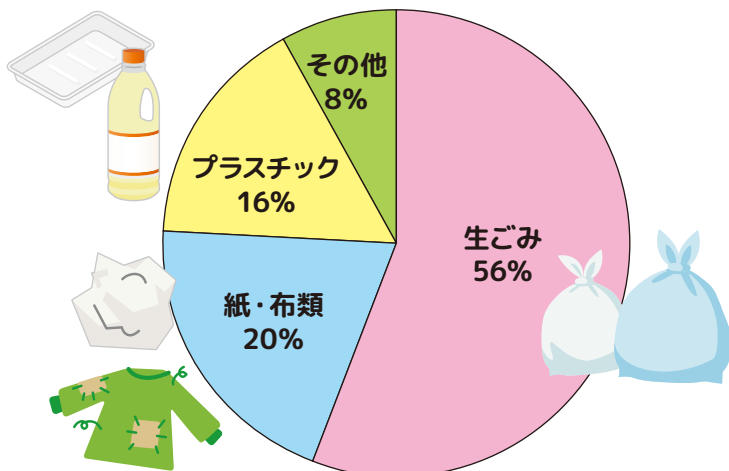
一般質問項目

- ・ごみの減量とリサイクル
- ・「まちづくり」「つくバス・つくタク」地区別懇談会
- ・政策形成段階の市民参加推進



雑がみも資源に!

可燃ごみの内訳



※つくば市可燃ごみ簡易組成調査
(2015年実施・湿潤重量ベース)

総合運動公園の土地、どうなった?



つくば市議会議員
市民経済委員会委員長

北口ひとみ

一般質問項目

- ・長高野地区における土砂搬出事業者への対応
- ・秀峰筑波義務教育学校開校後の跡地活用
- ・総合運動公園の用地とされた土地のその後
- ・福島原発事故後の区域外避難者の現況

市長選では「運動公園問題の検証と土地について返還交渉する」と公約に掲げ当選しただけに、市民の関心や注目度が高いのは当然です。

この間、検証委員会を設置し、報告を受け、URへの返還交渉が行われました。この経過や結果については記者発表、新聞報道もされて、つくば市のHPでも情報提供されています。去る8月初旬には議員の全員協議会が招集され、経緯と今後の方針が説明されました。

しかし、市民の方からは「市長が代わって半年も過ぎたのに何も進展してないじゃないか!土地はどうなっているんだ?」との声が相次いで届きました。

五十嵐市長になり、議会への情報提供は格段に進んでいます。また、さらに市民公募やアイデア募集も積極的に行われており、様々な点で市民参加が進められています。議員の私たちは大きく改善の手ごたえを実感していますが、市民の方まで十分届いていないと判断し、今議会で、経過と市民への情報提供について市長に質問しました。

答弁では、「住民投票後、計画は白紙撤回されたが、前市長の任期中は特に動きはなかった」「就任後、第三者委員で構



成する委員会を設置し事業の進め方を検証した」「平成29年4月に検証結果報告書の提出を受け、市長自らが東京のUR首都圏ニュータウン本部を訪ね返還交渉を重ねたが、6月下旬に市の要望に応えることはできない旨の回答がURからあった」「現在は、これまで市が策定したまちづくり関連の構想等も踏まえて土地処分等も視野に入れ土地利活用の早期解決に向けた検討を進めたい」「これまでの経緯や利活用の検討について広報つくば10月号で情報提供をしていく」旨の詳細な説明がありました。

風通しの良い市政は、職員の方々の無駄な緊張をなくし、その分市民対応へ力がそがれます。市民の中にはすでに実感しているとの声もありますが、なかなか12年間の体制や体質はすぐには変更されにくい点多々あると感じています。つくば・市民ネットワークは、これまで同様、市民の声をもとに現場確認、調査研究をし、五十嵐市政へ提案していきます。

2017年9月議会議決結果

議決の結果 (○:賛成、×:反対)	会派名	つくば・市民ネットワーク	自民つくばクラブ ・新しい風	統一会派つくば 政清会・民進党の会	つくば市民 政策研究会	公明党	日本 共産党	新 社会党	筑峰 クラブ	創生クラブ はがくれ	山中 八策の会
透明性、公正性を高めるため入札制度の更なる改革を求める決議	可決	○	×	○	○	○	○	○	×	×	△
各会派の所属議員(敬称略) *は会派代表(議員数28 議長:塩田)		*宇野、北口 皆川、小森谷	*小久保、久保谷 ヘイズ、五頭 神谷、黒田、長塚	*塚本、大久保 木村修、木村清	*須藤 柳沢 高野進	*小野 浜中 山本	*滝口 橋本 山中	*金子	*鈴木	*高野文	*塩田 (議長)

いまこそ「新しいたすけあい」の仕組みを、市民と行政の協働で!



つくば市議会議員
総務委員

皆川ゆきえ

一般質問項目

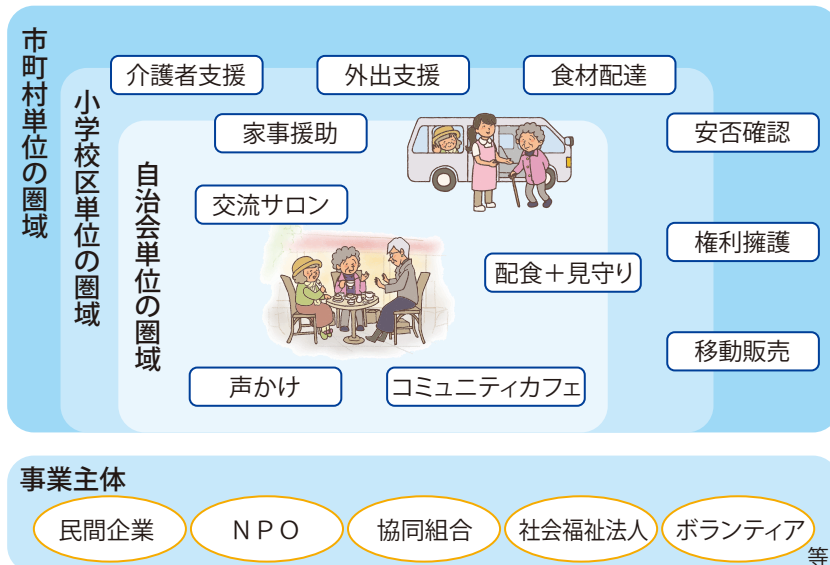
- ・地区相談センター
- ・高齢福祉政策
- ・図書館の改善
- ・荃崎庁舎跡地・谷田部庁舎跡地活用

高齢化社会に向け、高齢者が住み慣れた地域で暮らすための体制づくりが全国で始まっています。つくば市でもいよいよ、「生活支援体制整備事業」として、荃崎地区をモデル地区としてこの秋よりスタートします。

この事業は、住民ボランティア、NPO、協同組合等が高齢者の生活を支えるための仕組みづくりを行政が中心となって進めていくものです。高齢者が自宅で過ごすためには、ちょっとした「困りごと」を住民同士のたすけあいの仕組みで支えていくことが重要です。各種調査でも、「ごみ出しが大変」「食事づくりが大変」「買い物や通院の移動支援」「気軽に集まれる、話せる場が欲しい」というニーズが浮かび上がっています。

まずは荃崎地区を日常生活圏域の単位として、つくば市では地域包括支援課が中心となり、協議体を設置し、具体的なニーズやたすけあいの担い手の掘り起しを始めるとのことです。行政と市民協働のまちづくりとして、この事業が確実に進むよう働きかけていきます。

生活支援・介護予防サービスの提供イメージ



市町村のバックアップ

※厚生労働省「介護予防・日常生活支援総合事業と生活支援体制整備事業について」より

これでいいの? インターネットを使った「調べ学習」

つくば市では小学校から「調べ学習」にインターネットの使用を積極的に進めています。インターネット検索は手軽な反面、とても厄介です。子供が見ると問題になる情報や、嘘の情報、古い情報、単なる噂話などがそこら中に溢れているからです。そこで、情報モラル教育の現状について質問しました。

答弁では、プレゼンテーションの資料を作成する際、書籍やインターネットの引用先を明記する、5年生の社会科では正しい情報の集め方を指導する、などの情報モラル教育を実施しているとのことでした。しかし、私がインタビューした子どもたちは一様に「そんなことは教わっていない」と言います。現場で教えているつもりでも、子どもたちには浸透していないことがわかります。

答弁にも「5年生の学習で」とある通り、情報モラル教育については早くも小学校高学年になって初めて理解できることです。そこで、インターネットの使用開始は少なくとも高学年以上にすべきと指摘しました。

また、教育へのコンピュータ導入で先鞭をつけた韓国では、「ネット検索で手軽に得た知識は頭に入らず問題解決能力が

落ちる」との教員の指摘があり、教育への導入を全面的に見直したそうです。インターネットでの検索では「わかったつもり」になりがちであり、自分で考えて自分の答えを導き出す過程がありません。一方書籍では、調べていることがどういう位置づけなのか、ということが徐々に理解できるようになります。まず書籍を使った基本的な調べ方、学習を十分に教えていただきたいと要望しました。

門脇教育長からは、「子どもが健全な発達を遂げる、あるいは良き人間形成をする上で、すべてICT教育*が良い効果を挙げているかと言われれば相当に弊害もあると考えている。そういう弊害をしっかりと認識した上で、どういう使い方をしたら教育効果が上がるのかを把握し、有効な活用をしていきたい」という答弁がありました。

全くその通りだと思います。今後の見直しに期待します。

※ICT教育…Information and Communication Technologyの略。情報コミュニケーション技術。コンピュータやインターネットに加え、プロジェクタ、デジタルカメラ、プレゼンテーションソフトなどを幅広く活用した教育。



つくば市議会議員
文教福祉委員

小森谷さやか

一般質問項目

- ・公設民営児童クラブの公営化
- ・ICT教育



水道料金改定決まる! 審議会答申平均38%→値上げ幅縮小21%へ!

今議会で、水道給水条例の一部改正案が出されました。つくば市の上水道事業は近年赤字が続き、必要な工事も十分行えない状況でした。決算監査委員からも、経営健全化が急務と指摘されていました。

このような中、2015年11月、上下水道審議会で「38%の水道料金の値上げが必要」と答申が出されました。しかし、値上げの提案には至らず、昨年12月、五十嵐新市長になり、改選直後の12月議会で「答申の内容を再度精査する」と発言。その後も、一般質問での活発な議論と並行して、5~6月にかけて議会と行政の勉強会を5回行いました。

勉強会では、審議会の議事録や関連資料を基に、水道事業の経営状況や未整備地区の問題、簡易水道の現状などについて、議員・水道部担当者との間で、かなりふみ込んだ議論や調査が行われました。

つくば・市民ネットワークは、この勉強会に、審議会の答申よりも値上げ幅を抑えようと、新たな財政シミュレーションを提案しました。

それは企業債の割合を増やし、未整備地区の幹線整備など必要な工事を遅滞なく実施でき、かつ将来の返済金はそれほど膨らまない案です。

今回の水道料金改定案は、この提案がほぼ採用された形になり、つくば・市民ネットワークはじめ全会一致で可決しました。



水道料金どう変わる?

※標準家庭 1か月あたり (20mm口径、月20m³)

現在 : 2,700円
来年4月~ : 3,132円 (16%up)
(参考) 答申案 : 3,564円 (32%up)

新しい料金は来年4月から始まります。つくば・市民ネットワークは、料金改定について市民へ分かりやすい説明を行うよう求めました。また、大口需要者が地下水利用へ移行して給水収益が減る問題や、未整備地区の老朽化した簡易水道施設への支援などについて引き続き取り組んでいきます。

主な活動報告

- 7/22 街頭議会報告
- 7/25 2017夏期学校給食学習会参加
- 8/2、8/7 議員と話そう会開催
- 8/ 5 竹園3丁目地域拠点再構築に関する報告会参加
- 8/6、9/3、10/1 つくば市民による財政白書づくりの会参加
- 8/ 8 議員全員協議会
- 8/22 総務委員会(皆川)
- 8/27 茨城県知事選挙
- 8/29~9/15 9月定例市議会
- 9/ 2 避難の現状と今後の支援について考える交流集会(避難の協同セクター主催)参加
- 9/ 3 子どもとメディアを考える学習会参加
- 9/19、21 議会報編集委員会による議会報に関する市民アンケート(皆川)
- 9/20 観光開発推進特別委員会(宇野)
- 9/23 街頭議会報告
- 9/27 議会活性化推進特別委員会(宇野、皆川)
- 9/30 吉原毅講演会「原発ゼロでがっちり」協賛

※放射能汚染から子どもを守ろう@つくば、脱原発ネットワーク茨城へも参加しています。
 ※テーマごとの部会活動の他、市の各種委員会・審議会等も多数傍聴しています。



プレイパークを作ろう!

「プレイパーク」ってご存知ですか?前号(51号)でも取り上げましたが、「自分の責任で自由に遊ぶ」ことのできる場所です。普通の公園と違うところ、それは「禁止」がほとんどないことです。一般の都市公園では穴掘り、水遊びなどは制限されています。子どもたちから「ヒマ」と「遊び仲間」が消え、これだけ緑に恵まれたつくば市の公園なのに、遊んでいる子どもを見かけることが本当に少なくなりました。

でも、大人同士で話してみると、実は子どもには外で自由に遊んでほしいと思っている人がたくさんいます。そして、つくば市には外で遊ぶ活動をしている団体はたくさんあります。これをつなげたい!と、「つくばdeプレイパークひろめ隊」が結成されました。10月29日(日)10:30~竹園交流センターでフォーラム&体験プレイパークが行われますので、関心のある方は、ぜひご参加ください。



県知事選を終えて~東海第二原発再稼働は?

8月の茨城県知事選では自民党推薦の大井川氏が当選、東海第二原発再稼働に反対した二人が敗れました。しかしNHKの選挙出口調査では、投票した76パーセントの人々が再稼働に反対と答えています。

東海第二原発は、建設後39年を経て老朽化が進み設備も古くなって、このままでは大変危険な状態です。3.11の時には、津波があと40センチ高ければ、福島第一原発と同様になっていたほど深刻な状況でした。福島第一原発事故原因の検証を完了しないまま、原発の再稼働はあり得ません。再稼働すれば放射性廃棄物はますます溜まり続けます。周辺30km圏内には96万人が生活している東海第二原発について、新知事は「安心、安全を最優先に」というなら、再稼働を認めるべきではないと考えます。



つくばサイエンスコラボ2017
環境フェスティバルのブースで
ダンボールコンポスト紹介します!

つくば市の燃えるごみはクリーンセンターで焼却し、約14~15%が焼却灰となっています。その焼却灰は市外の民間最終処分場に埋め立てています。年間約11,000トン、月曜から金曜まで毎日10トントラック4~5台分の焼却灰を運んでいます。

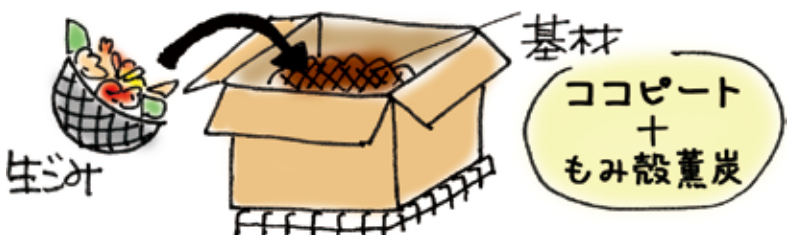
11月18日(土)10~16時
11月19日(日)10~15時半
つくばカピオ北側広場



その最終処分場の残り年数が7年を切り、ごみ減量に本気で取り組まなければなりません。燃えるごみの約半分を占める生ごみを燃えるごみに出さずにはすめば大幅な減量になります。市民ネットでは、まずは自分で処理する人を増やそうと「ダンボールコンポスト」に取り組んでいます。

ダンボールコンポストとは、ダンボールの中に基材を入れ、それに生ごみを入れて毎日混ぜるだけで、生ごみが発酵し堆肥になるという簡易生ごみ処理器。ごみ減量に加えて、立派な堆肥もできあがります。

百聞は一見に如かず、環境フェスティバルにぜひおいで下さい。
 (市民ネット事務所でも見学できます。お問合せください。)



体験記

つくば・市民ネットワークでは、若年投票率の向上を目標に活動するNPO法人ドットジェイピーの、学生を対象とした議員インターンシッププログラムに協力しています。これは、議員と行動を共にする事により、その仕事への思いや、政治と社会のつながりを知る体験学習プログラムです。今回参加した2人の学生に、感想を聞きました。

私は主に、9月つくば市議会定例会に関わらせていただき、行政へのヒヤリングや議会対策会議、資料作成など議会で質問するまでにはたくさんの準備があることを知りました。また、議会の傍聴をさせていただくと、傍聴者には質問内容が書かれた資料しか配られておらず、事前に関わらせていただいた質問以外は、理解しにくいと感じました。人に分かりやすく伝えるには工夫が必要であると改めて感じ、とても勉強になりました。(大学生)



議会の大まかな仕組み、原発問題などの時事問題の概要を初めて知りました。議会や委員会ではたまに笑いがあるなど意外な一面がありました。発言の中には、細かい数値や難しい熟語が含まれていたり、一文が長かったりと分かりづらい部分があったので、資料やモニターを使って工夫したらよいと思いました。

また、原発は止めても電気は確保できることがわかり、間違ったイメージが多くついてしまっていると気が付きました。

日本は、政治にあまり関心がない人が多いです。それには「情報の伝達」が重要な要素だと考えました。「どうしたら情報を同じイメージで共有できるか。」を考えたいと思いました。(大学生)